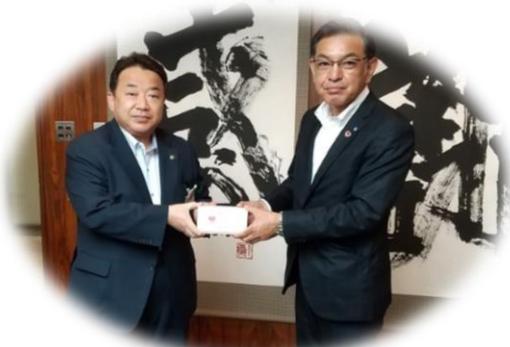




1枚1枚の “どうもありがとう” 言葉、県産米で届ける



(左) 清水 いわき市長 (右) 今野 会長
2021年6月30日 いわき市保健所への寄贈

贈呈に際し、今野会長は『東日本大震災、原発事故で言われなき差別など県民は苦しんだ一方で、10年におよぶ期間多くの支援をいただいた。今、コロナ禍で医療従事者・家族に対する偏見・差別が問題となり、ワクチン接種にもご苦労いただいている。「どうもありがとう」は私たちの感謝を伝える差別などを凌駕できる素晴らしい言葉。是非皆さんにお届けしたい』と挨拶した。

連合福島と福島県労福協が取り組んでいる「DO・もーバッジプロジェクト」で、お預かりした浄財とメッセージカードを、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で尽力いただいている、いわき市、郡山市、福島市に届けました。寄贈に際しては、コロナ感染者受入医療機関の把握が難しいこともあり、今回は保健所のある中核市としました。また、贈呈品はコロナ禍で消費が著しく落ち込んだ県産米300g2パックと、メッセージカード1枚のセットとしました。



(左) 品川 郡山市長 (右) 今野 会長
2021年7月6日 郡山市保健所への寄贈

市長の皆様から、「心温まるご支援に心より感謝申し上げます。収束の見えない闘いの中で、職員等の負担も大きくなっている。頂いたお米とメッセージカードは、確実に関係者に届けさせていただきます。」と御礼がありました。

DO・もーバッジプロジェクトは、今後も継続して取り組んでまいります。あなたの「ありがとう」を届ける・伝える・広がる、取り組みへのご賛同をお願いいたします。



(左) 木幡 福島市長 (右) 今野 会長
2021年7月7日 福島市保健所への寄贈

募金箱設置箇所

・福島市役所売店 ・ホテル福島グリーンパレス

お問い合わせ先

・連合福島および各地域連合

プロジェクト寄付額

【6月30日現在】

1,047,352円

(経費668,250円除く)



頂いたメッセージカード

2021年6月7日(月)に開催した、中央労福協主催「全国研究集会」と、連合福島・福島県労福協主催による「10年の感謝を未来につなぐ集い」を配信しています。ぜひご覧ください。

★連合福島 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCInwq8IRX4K1cDKDgtETNDg>



★中央労福協「全国研究集会」

<https://www.youtube.com/watch?v=-LrGdI11-bU>

